

利尻山の火山活動解説資料（令和6年7月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○活動概況

・噴気など表面現象の状況（図1～4）

25日に国土交通省北海道開発局の協力により上空からの観測を実施しました。北西側の溶岩ドーム群及び南側スコリア丘群付近には、これまでの観測結果と同様に地熱域は認められず、地形や植生なども前回の観測（2023年8月）と比べて特段の変化はありませんでした。

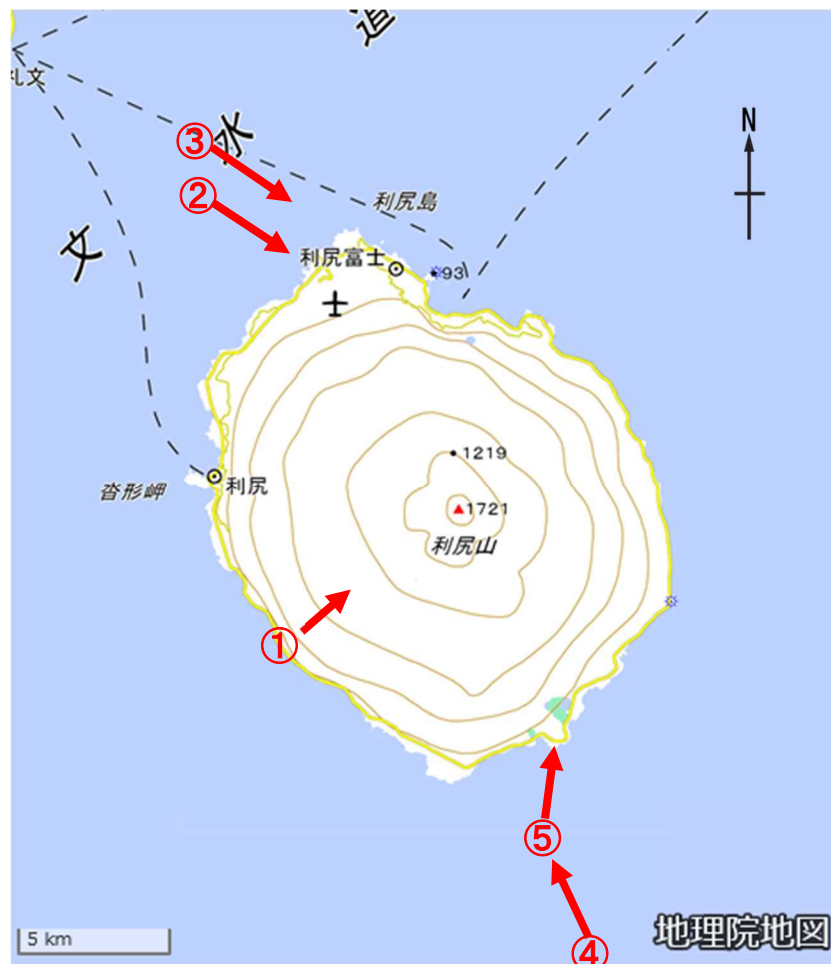


図1 利尻山 赤外熱映像及び写真の撮影方向（矢印）

この火山活動解説資料は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。



図2 利尻山 南西側からみた利尻山の状況 南西側上空（図1の①）から撮影



図3 利尻山 北西側からみた溶岩ドーム群の状況 北西側上空（上：図1の②、下：図1の③）から撮影
・植生の変化や地熱域等は認められません。



図4 利尻山 南側からみた南側スコリア丘群の状況 南側上空（上：図1の④、下：図1の⑤）から撮影
・植生の変化や地熱域等は認められません。